

## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月4日

上場会社名 株式会社タカミヤ 上場取引所 東  
 コード番号 2445 URL <https://www.takamiya.co/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 高宮 一雅  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員経営管理本部長 (氏名) 辰見 知哉 TEL 06-6375-3918  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	9,896	9.7	409	125.5	615	41.0	417	33.0
2023年3月期第1四半期	9,017	△2.4	181	133.2	436	198.0	313	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 398百万円 (27.8%) 2023年3月期第1四半期 311百万円 (35.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	8.95	8.64
2023年3月期第1四半期	6.73	6.52

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	63,663	20,543	31.3	427.43
2023年3月期	62,749	20,522	31.7	427.08

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 19,908百万円 2023年3月期 19,892百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	6.00	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	22,400	13.1	1,300	70.3	1,220	7.3	770	3.1	16.53
通期	48,000	14.6	3,800	68.7	3,580	49.1	2,420	65.7	51.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	46,585,600株	2023年3月期	46,585,600株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	7,020株	2023年3月期	7,020株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	46,578,580株	2023年3月期1Q	46,578,580株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限が解消され、景気は回復基調で推移しましたが、エネルギー価格や原材料の高騰に加え、欧米各国を中心とした金融引き締めへの懸念や、為替相場の変動など依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の中で、当社グループは2021年5月31日発表の中期経営計画において、「トランスフォームにより新たな価値を創造し、お客様のパートナー企業となることで、持続的な成長を目指す。」という経営ビジョンを掲げ、新たなビジネスモデルへの転換を進めております。

特にIqシステムの購入顧客に対して、高付加価値サービスを提供する「タカミヤプラットフォーム」を2023年5月31日に発表し、プラットフォームで提供する全サービスをWEB上で利用できるインターフェース「OPERA」、建設用仮設機材の購入や売却を自由に行うことができるデジタルマーケット「Iq-Bid（アイキュービッド）」をはじめとした機能拡充を進めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高9,896百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益409百万円（前年同期比125.5%増）、経常利益615百万円（前年同期比41.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益417百万円（前年同期比33.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①販売事業

仮設部門において、「タカミヤプラットフォーム」に対する関心は高く、新規調達、入替及び追加購入案件の引き合いは堅調に推移いたしました。また、資材価格の高騰、人材不足等による工事遅延や、先行き不透明な状況を懸念し、購入ではなくレンタル使用の動きは引き続き見られ、前年同期と同水準で推移いたしました。

損益面では、前連結会計年度に実施しました販売価格改定が利益率に寄与いたしました。

仮設部門以外においては、前期よりメガソーラー大型案件が継続し、太陽光関連製品の売上が増加しております。

これらの結果、売上高2,895百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益275百万円（前年同期比116.0%増）となりました。

#### ②レンタル事業

首都圏の維持修繕工事を中心にレンタル需要は高く、建築分野、土木分野ともに建設用仮設機材の貸出量が前年を上回る高水準で推移いたしました。また、機材ラインナップを拡充し、「タカミヤプラットフォーム」ユーザーに対する安定供給体制の整備を進めてまいりました。

これらの結果、売上高6,346百万円（前年同期比11.2%増）、営業利益613百万円（前年同期比54.6%増）となりました。

#### ③海外事業

製造分野では、原材料・部品の調達に大きな影響はなく、ホリーベトナム（ベトナム）、ホリーコリア（韓国）ともに建設用仮設機材の日本向け出荷が堅調に推移しております。

海外営業部門のあるホリーコリアでは、韓国国内の建設需要はあるものの、世界的な金融引き締めを懸念し、日本国内同様にレンタル使用への動きが見られた結果、販売売上が減少いたしました。

DIMENSION-ALL INC.（フィリピン）では、経済活動は回復基調にはあるものの、工事の遅延や、着工の延期などの影響があり、前年同期と同水準で推移いたしました。

これらの結果、売上高1,824百万円（前年同期比10.7%減）、営業利益40百万円（前年同期比61.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、63,663百万円となり、前連結会計年度末と比べ914百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金の増加179百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少852百万円、商品及び製品の増加726百万円、賃貸資産（純額）の増加997百万円等によるものであります。

負債合計は、43,120百万円となり、前連結会計年度末と比べ892百万円増加いたしました。この主な要因は、短期借入金の増加1,586百万円、賞与引当金の減少319百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少425百万円等によるものであります。

純資産合計は、20,543百万円となり、前連結会計年度末と比べ21百万円増加いたしました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益417百万円及び剰余金の配当372百万円による利益剰余金の増加44百万円等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月11日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,296	8,475
受取手形、売掛金及び契約資産	11,452	10,600
商品及び製品	5,423	6,150
仕掛品	1,308	1,282
原材料及び貯蔵品	1,452	1,338
その他	819	949
貸倒引当金	△323	△340
流動資産合計	28,430	28,456
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
減価償却累計額	△28,243	△28,962
貸貸資産(純額)	14,349	15,346
建物及び構築物		
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,359	△4,485
建物及び構築物(純額)	5,725	5,653
機械装置及び運搬具		
減価償却累計額	△2,171	△2,279
機械装置及び運搬具(純額)	1,512	1,485
土地	7,766	7,774
リース資産		
減価償却累計額	△922	△979
リース資産(純額)	301	282
建設仮勘定	145	184
その他		
減価償却累計額	△1,365	△1,426
その他(純額)	492	525
有形固定資産合計	30,292	31,253
無形固定資産		
借地権	327	327
その他	418	401
無形固定資産合計	746	729
投資その他の資産		
投資有価証券	379	410
差入保証金	760	761
退職給付に係る資産	80	81
繰延税金資産	745	646
その他	1,382	1,409
貸倒引当金	△68	△85
投資その他の資産合計	3,280	3,224
固定資産合計	34,318	35,206
資産合計	62,749	63,663

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,010	6,746
短期借入金	3,909	5,495
1年内償還予定の社債	1,167	1,167
1年内返済予定の長期借入金	5,749	5,566
リース債務	311	320
未払法人税等	392	180
契約負債	110	—
賞与引当金	466	147
設備関係支払手形	306	315
その他	2,454	3,016
流動負債合計	21,878	22,955
固定負債		
社債	4,263	4,215
長期借入金	12,253	12,011
リース債務	690	627
退職給付に係る負債	1,021	1,035
資産除去債務	34	34
その他	2,085	2,240
固定負債合計	20,349	20,164
負債合計	42,227	43,120
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,052	1,052
資本剰余金	1,910	1,910
利益剰余金	16,514	16,558
自己株式	△3	△3
株主資本合計	19,473	19,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	82
繰延ヘッジ損益	△1	△2
為替換算調整勘定	368	318
退職給付に係る調整累計額	△9	△7
その他の包括利益累計額合計	419	390
新株予約権	434	434
非支配株主持分	194	199
純資産合計	20,522	20,543
負債純資産合計	62,749	63,663

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	9,017	9,896
売上原価	6,366	6,850
売上総利益	2,650	3,046
販売費及び一般管理費	2,469	2,637
営業利益	181	409
営業外収益		
受取利息	1	5
受取配当金	3	3
受取賃貸料	27	25
スクラップ売却収入	48	38
為替差益	227	196
その他	20	31
営業外収益合計	328	301
営業外費用		
支払利息	50	59
支払手数料	13	11
貸倒引当金繰入額	—	16
その他	9	6
営業外費用合計	72	94
経常利益	436	615
特別利益		
固定資産売却益	0	7
特別利益合計	0	7
特別損失		
固定資産除却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	436	623
法人税、住民税及び事業税	123	95
法人税等調整額	13	101
法人税等合計	136	197
四半期純利益	300	426
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	313	417

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	300	426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	20
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	6	△49
退職給付に係る調整額	0	1
その他の包括利益合計	11	△28
四半期包括利益	311	398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	324	388
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	9



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	販売事業	レンタル事業	海外事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	2,386	3,128	712	6,228	—	6,228
その他の収益	—	2,576	212	2,789	—	2,789
外部顧客への売上高	2,386	5,705	925	9,017	—	9,017
セグメント間の内部 売上高又は振替高	85	0	1,117	1,203	△1,203	—
計	2,472	5,706	2,043	10,221	△1,203	9,017
セグメント利益	127	396	105	630	△448	181

(注) 1. セグメント利益の調整額△448百万円には、セグメント間取引消去72百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△521百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	販売事業	レンタル事業	海外事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	2,840	3,248	513	6,601	—	6,601
その他の収益	—	3,090	204	3,295	—	3,295
外部顧客への売上高	2,840	6,338	717	9,896	—	9,896
セグメント間の内部 売上高又は振替高	54	8	1,106	1,169	△1,169	—
計	2,895	6,346	1,824	11,066	△1,169	9,896
セグメント利益	275	613	40	929	△520	409

(注) 1. セグメント利益の調整額△520百万円には、セグメント間取引消去44百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△565百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づくリース収益等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。